

第三節、封鎖勘定

第一、封鎖勘定ノ意義

獨逸ノ幣制上本意貨タル「ライヒスマルク」ノ外封鎖勘定（

）又ハ封鎖「マルク」

ト呼バレル特殊ノ通

貨ノ存在スルガ如ク觀念スル者ガアルガ巷間封鎖勘定又ハ封鎖「マルク」ト稱スルモノノ實體ハ外國人ガ國內ニ於ケル銀行其ノ他ノ信用機關ニ有スル預金又ハ債權デ爲替管理法ニ依リ其ノ處分ノ制限セラレテ居ルモノヲ云フノデアツテ決シテ異ル通貨ノ意義デハナク法律上ノ用語デ云ヘバ封鎖預金

ト稱スルノガ

正確デアル此ノ封鎖勘定ハ必ズシモ獨逸ノミニ存在スル制度デハナイガ其ノ最モ強度化サレ且整備セル体系ヲ具ヘテ居ル點ニ於テ確ニ獨逸爲替政策ノ一時徴ト看做スコトガ出來ル

封鎖勘定ハ爲替管理制度ノ一部トシテ前章ニ於テ之ヲ論ズルノガ適切デアルカモ知レナイガ其ノ法源ハ舊ニ爲替管理法ノミナラズ

大藏省



短資据置協定或ハ長期外債ノ「トランスファ・モラトリウム」ニ關スル對外支拂義務ニ關スル法律等ニ及ンデ居リ且其ノ處分ハ之ヲ純粹ノ爲替上ノ取引ト別箇ニ考察スル要ガアルノデ章ヲ更メテ論述スル次第デアル

封鎖預金ニ對比シテ自由ニ處分シ得ル外國人ノ在獨預金ヲ自由「ライヒス・マルク」預金ト云フ自由「ライヒス・マルク」預金ハ一九三一年七月十六日以後（債權者ガ外國銀行ナルトキハ一九三一年七月三十一日以後）國內信用機關又ハ郵便局ニ生ジタ外國人ノ預金デ其ノ拂込ニ關スル爲替管理法上ノ許可（前述）ニ際シテ處分制限ノ條件ノ附帶シナイモノカラ成立スルノデアツテ其ノ勘定所有者ハ國內ニ於テ自由ニ既チ許可ヲ要セズシテ之ヲ處分シ得ル從テ之ヲ他ノ外國人ノ國內勘定ニ移シ又ハ之ヲ引當トスル手形若ハ小切手ヲ振出スコトガ出來ル自由「ライヒス・マルク」預金ヲ引出シ之ヲ以テ外國爲替ヲ買入レル場合ハ

別途爲替取引ニ關スル許可ヲ要スルガ勘定所有者ノ所屬國ノ通貨  
 ニ換ヘル場合ニハ通常許可ガ與ヘラレルコトニナツテ居ルカラ自  
 由「ライヒスマルク」預金ニ付テハ其ノ處分ハ勿論國外ヘノ「ト  
 ランスフアー」モ格別ノ制限ヲ受ケナイモノト解シテ差支ナイ  
 封鎖勘定ニハ後ニ述ブル様ニ澤山ノ種類ガアルガ其ノ處分ニ付テ  
 ハ何レモ原則トシテ爲替管理局（登録預金ノ場合ハ「ライヒスバ  
 ンク」ノ許可ヲ要スルノガ通則デアツテ唯之ヲ特定ノ目的ノ爲處  
 分スル場合ニ自由ガ認めラレテ居ル斯ノ如ク封鎖勘定ナルモノヲ  
 設ケテ外國人ノ獨逸國內ニ有スル預金又ハ債權ノ處分ヲ制限シタ  
 趣旨ハ在外債權者ノ資金引上ヲ抑制シ「ライヒスマルク」ノ對外  
 價值安定ヲ圖ルコトニ在ルノデアツテ一九三一年ノ金融恐慌ノ苦  
 イ經驗カラ生レタ制度ト見ルコトガ出來ル  
 封鎖勘定ノ處分ハ上記ノ如キ制限ヲ受ケルガ國內ニ此ノ勘定ヲ有  
 スル外國人ノ債權者タル地位ニハ別段ノ變動ガナイノデアルカラ

外國債權者ガ其ノ必要ニ基キ各種封鎖勘定ノ制限ノ廣ニ從ヒ自由「マルク」ニ比シ幾分不利ナル權場ニ甘ンジテ之ヲ外國ニ於テ賣却換價スルコトハ自由デアツテ此ノ點ニ關シ「シヤハト」ハ國際羊毛會議ノ席上ニ於テ「獨逸國內ニ預金ヲ有シ且或ル期間忍耐シ得ル者ハ何等ノ損失ヲ蒙ルコトナカルベシ然レドモ外國債權者ニシテ其ノ所有ニ係ル預金ヲ損失ヲ甘受シテモ當分換價セントスル者ニ對シテハ余ハ之ヲ阻止スベキ何等ノ理由ヲ有セズ余ハ斯ノ如キ債權者ニ忍耐ヲ強制セズ」ト述ベテ居ル事實封鎖勘定ハ外國市場ニ於テ多少ノ「デイスカウント」ヲ以テ取引サレテ居ルノデアツテ獨逸政府ハ一方ニ於テ斯ル封鎖勘定ノ減價ヲ利用シテ之ヲ獨逸ヨリノ輸出商品ノ代金決済ニ充當シ（所謂追加輸出ニ依ル輸出獎勵）或ハ海外ヨリノ旅行者ノ旅費ニ充テ外客誘致ヲ促進スル等ノ巧妙ナル方策ヲ案出シタノデアアル封鎖勘定ノ一種デアツテ主トシテ國內旅行ノ目的ニ使用サレル「レギタター・マルク」預金

ニ付テハ倫敦爲替市場ニ於テ自由「マルク」ノ相場ニ對スル「デ  
 イスカウント」ノ割合ヲ以テ表示サレル爲替相場ガ建テラレテ居  
 ルコトハ「エコノミスト」ノ報ズル通デアツテ比較的處分ノ自由  
 ナル封鎖勘定ハ海外ニ於テ相當旺ニ買賣サレテ居ル事實ヲ窺ヒ知  
 ルコトガ出來ル（一九三五年一月以降ニ於ケル倫敦市場ニ於ケル  
 「レギスターマルク」ノ「デイスカウント」率ノ變遷ヲ見ルト三  
 〇%乃至五〇%ノ間ヲ往來シテ居ル）

第三、封鎖勘定ノ種類

封鎖勘定既チ封鎖預金ハ其ノ成立ノ原因及時期ニ從ヒ次ノ多種ニ  
 分レ何レモ其ノ處分ガ制限セラレテ居ルガ各種類毎ニ特定ノ目的  
 ニ使用スル場合ニ限り自由處分ガ認めラレテ居ル。

(一) 信用封鎖預金

此ノ勘定ハ次ノ二ノ原因カラ生ズル

(1) 獨逸國內ニ於ケル投資財産特ニ不動産、相續財産ノ買却手取

金 金

(2) 一九三一年七月十六日前ニ外國人ヨリ供與サレタ信用ニシテ  
短資据置勘定ノ對象トナラザルモノノ償還金（但シ外國銀行  
ガ債權者ナルトキハ一九三一年十月九日前ニ供與サレタ信用  
ノ償還金）

信用封鎖預金ハ許可ヲ經ズシテ「ライヒスマルク」表示證券ノ  
購入ニ使用スルコトガ出來ル。又次ノ目的ニ使用スル場合ニハ  
通常地方爲督管理局ノ許可ガ與ヘラレル

(1) 獨逸國內ニ於ケル長期投資

(2) 勘定所有者及其ノ家族ガ商用以外ノ目的ヲ旅行スル場合ノ旅  
費但シ一人月額二千麻ヲ限度トス

(3) 勘定所有者ノ獨逸國內ニ於ケル社會的、宗教的團體等ニ對ス  
ル無償ノ寄附又ハ國內要扶助者ニ對スル扶養料ノ支給

(4) 封鎖勘定ノ成立ハ維持管理ニ關スル費用ノ支拂

(5) 勘定所有者ノ租税支拂

(6) 獨逸商社ノ勘定所有者ニ對スル商品引渡及勞務給付ニ關スル  
代金支拂但シ代金ノ二五%ヲ限度トス

(二) 紙幣封鎖預金

一九三五年十二月一日付爲替管理法第三次施行令ニ依リ「ライヒスマルク」紙幣ノ輸入ガ禁止サレタ結果此ノ禁止ニ反シ國內ニ携帯搬入セラレ若ハ送付セラレタル紙幣又ハ外國人ノ爲ニ預金ヲ爲ス旨ノ指圖ヲ以テ外國ヨリ送付セラレタ「ライヒスマルク」紙幣ハ紙幣封鎖預金ニ預入サレル其後一九三六年五月ノ第五次施行令ニ依リ獨逸補助貨ノ輸入ガ禁止サレ不法ニ輸入サレタ補助貨モ此ノ勘定ニ預入サレルコトニナツタノデ紙幣封鎖預金ノ名稱ハ廢止サレ新ニ通貨封鎖預金（ ）ガ設ケラレタガ其ノ實質ハ從前ト同シデアール紙幣封鎖預金ハ許可ヲ得ズシテ「ライヒスマルク」表示證券ノ

購入ニ之ヲ使用シ得ル又不動産擔保貸付。内國人ニ對スル貸付  
及内國企業ヘノ參加ノ爲ニハ許可ヲ得テ之ヲ使用シ得ル

(三) 舊預金 ( )

内國通貨若ハ外國通貨ニ依ル外國人ノ預金デ一九三一年七月十  
六日前ニ國內信用機關内ニ存シ短資据置勘定ノ對象トナラザル  
モノハ舊預金トシテ取扱ハレル。舊預金ハ信用封鎖預金ト同ジ  
使用方法ガ許サレテ居ルガ使用限度ハ一九三二年四月一日ニ於  
ケル現在額ノ二五%トナツテ居リ勘定保有銀行ノ許諾ヲ得レバ  
最少六ヶ月ノ期間ヲ置イテ更ニ二五%ヲ使用シ得ルコトニナツ  
テ居ル

(四) 國外移住者封鎖預金 ( )

一九三一年八月三日以後住所又ハ居所ヲ外國ニ移シタ自然人既  
チ國外移住者ガ夫以前ニ國內信用機關ニ保有シテ居タ預金並ニ  
移住後ノ債務償還若ハ國內財産賣却ノ手取金カラ成立スル封鎖



勘定デアツテ其ノ使用方法ハ信用封鎖預ケ金ト略々同様デア  
 (五) 證券封鎖預ケ金 ( )

獨逸外債ヲ除ク證券ノ賣却若ハ償還手取金ハ外國債權者ノ爲ニ  
 本封鎖勘定ニ預入サレル。證券封鎖預金ノ内一九三二年四月十  
 五日現在ニ於テ外國人ノ所有トナツテ居タ證券ノ賣却手取金ヨ  
 リ生シタモノノ使用方法ハ大体信用封鎖預ケ金ト同様デアルガ  
 然ラザルモノハ「ライヒスマルク」表示證券ノ購入以外ニハ之  
 ヲ使用シ得ナイ

(六) 特別勘定

外國人ニ對スル利子、配當、地代其ノ他ノ定期的給付ハ通常後  
 述ノ外債換算金庫ニ拂込マレルガ地方爲替管理局ノ許可ヲ得テ  
 爲替銀行内ノ特別勘定ト稱スル封鎖勘定ニ拂込ムコトガ出來ル。  
 特別勘定ノ所有者タル外國人ハ自己ノ計算ニ於テ一定期間内左  
 ノ目的ニ之ヲ使用スル場合ニハ許可ヲ要シナイ

(1) 獨逸國內ニ於ケル社會的、宗教的團體等ニ對スル無償ノ寄附  
又ハ國內要扶助者ニ對スル扶養料ノ支給

(2) 封鎖勘定ノ成立右ハ維持管理ニ關スル費用ノ支拂

(3) 租稅ノ支拂

(4) 勘定所有者及其ノ家族ガ商用以外ノ目的デ旅行スル場合ノ旅  
費但シ一人月額二千麻ヲ限度トス

(七) 外債換算金庫預金

「ナチス」政府ガ其ノ成立後間モナク斷行シタ外債ノ「トラ  
スファームラトリウム」ニ關聯シ一九三三年六月九日ニ公布サ  
レタ對外交拂義務ニ關スル法律（

）ニ依リ一九三一年七月十五日以前ニ  
成立シタ總テノ對外債務ニシテ短資据置協定ノ適用ヲ受ケザル  
モノニ關スル利子、配當地代其他ノ定期的給付ニ付テハ一九三  
三年七月一日以後外貨支拂ガ停止サレ國內債務者ハ之ヲ「ライ

ヒスパンクニ新設サレタ外債換算金庫

ニ「ライヒスマルク」ヲ以テ拂込ムコトニ依テ義務ヲ免レ得ル  
 コトニナツタ此ノ外債換算金庫ニ拂込マレタ「ライヒスマル  
 ク」金額カラ生ズル外國債權者ノ預金ヲ外債換算金庫封鎖預金  
 ト稱シ外債拂ハ勿論其ノ自由處分ニモ制限ガ加ヘラレタノデア  
 ル。

然シ乍ラ此ノ封鎖預金ノ外債拂ヲ全然禁止スルコトハ獨逸ノ對  
 外信用ヲ急激ニ失墜スル虞ガアツタノデ政府ハ一時本勘定ノ五  
 〇%ヲ限り爲替ヲ以テ支拂ヒ他ノ五〇%ニ對シテハ外債換算金  
 庫ノ無利子證券既チ所謂「スクリツプ」ヲ發行スルノ措置ヲ採  
 ツタガ一九三三年末ニ至リ外債拂ノ割合ハ三〇%ニ引下ゲラレ  
 其ノ後外債資金ノ窮乏一層甚シクナルニ及ビ一九三四年四月逐  
 ニ外債拂ヲ全廢シ從來ノ一部外債拂一部「スクリツプ」發行ノ

方法ニ代ヘ外國債權者ニ對シテハ一九四五年一月一日滿期一三分利付ノ外債換算金庫確定債務證書（

）ヲ交付スルニ至ツタ。

尤モ政府ノ重要外債タル「ドース」及「ヤンク」公債ノ元利拂ニ付テハ關係國トノ特別協定ニ依リ例外ガ認メラレテ居ル。外國債權者ガ確定債務證書ノ交付ヲ希望シナイ場合ニハ其ノ預金ハ外債換算金庫内ニ無利子デ据置カレルコトニナルガ其ノ使用ニ付テハ他ノ封鎖勘定ト異ナリ殆ンド許可ガ與ヘラレナイノデアル。

(八) 登録預金又ハ「レギスターマーケット」預金（

一九三一年ノ金融恐慌直後ニ於テ外國債權銀行トノ協議ニ依リ成立シタ短資据置協定（

）ハ外國銀行ノ獨逸銀行

會社ニ對シテ供與シタル手形引受ニ依ル信用、（コールローン）等ニ基ク短期債務ノ内主要ナルモノヲ据置キ其ノ對外支拂ヲ停

止シ除々ニ其ノ整理ヲ行フコトヲ目的トスルモノデ其ノ存續期  
 間ハ昨年二月迄六回ニ亘リ延長サレタガ更ニ本年二月ニハ債權  
 者代表ト第七次ノ交渉ヲ行ツタ結果一九三八年二月末日迄延長  
 スルコトニ決定シ今日ニ至ツテ居レルガ右ノ短資据置協定ノ適  
 用ヲ受ケル對外債務ニ付テ國內債務者ハ「ライヒスバンク」ノ  
 許可ヲ得テ「ライヒスマルク」ヲ以テ同行ノ管理下ニ在ル一九  
 三三年受託會社（  
 ケル登録勘定ニ之ガ支拂ヲ爲シ得ルノデアツテ此ノ登録勘定ニ  
 拂込マレタ外國債權者ノ預金ヲ登録預金又ハ「レギスタール  
 ク」預金ト稱スルノデアアル。登録預金ハ封鎖勘定ノ一種デア  
 カラ其ノ處分ニ付テハ原則トシテ許可ヲ要スルガ右許可ヲ與ヘ  
 ル機關ガ爲替管理局デナクテ「ライヒスバンク」デアアル點ニ於  
 テ他ノ封鎖勘定ノ場合ト手續上ノ差異ガアル。登録預金ノ使用  
 方法ハ特定内國證券ノ買入、國內銀行又ハ個人ニ對スル貸付等

ノ投資ニ振向ケラルル場合又ハ外國人ノ獨逸國內旅行費用ニ使  
 用サレル場合ニハ處分ノ自由ガ認メラレテ居ル又許可ヲ得テ獨  
 逸商品ノ輸出代金ノ五〇%迄ノ決済ニ充當出來ル旅行費用ニ使  
 用スル場合ハ外國銀行又ハ旅行案内所ニ於テ信用狀又ハ旅行小  
 切手ノ形式ニ依リ之ヲ買買スル方法ニ依ルノデアツテ自由「マ  
 ルク」ニ對スル「デイスカウント」ノ關係上有利ナル相場ヲ以  
 テ外貨ト換算サレ而モ國內旅行ニハ自由「マルク」ト全然同價  
 値ニ通用スル爲外國人ノ旅行費用ヲ大ニ輕減スル效果ガアルノ  
 デ旅行者ノ登録預金ノ使用ハ相當普及スルニ至ツタ。尤モ其ノ  
 濫用ヲ防グ爲一日ノ使用最高額ハ普通旅行者ニ對シテハ五〇麻  
 信用狀發行者ノ特別ノ推薦狀アル者ニ對シテハ百麻ニ制限サレ  
 テ居ル

一九三一年ノ第一次短資据置協定成立當時六十三億麻ノ巨額ヲ  
 算シテ居タ對外据置短期債務ハ逐年減少シ一九三五年末ニ八十

四億麻、本年二月第七次協定成立ノ際ニ八十億八千ライヒスマル  
クトナツタガ右ノ減債額ノ内十四億麻、餘ハ登録預金ノ使用ニ  
依ル償還デアルト云ハレテ居ル

(九) 外國人國內拂特別勘定

一九三四年十二月ニ認めラレタ外國人國內拂特別勘定既チ所謂  
「アスキ」勘定ノ制度モ封鎖預金ノ一種デアルガ獨逸ヘノ輸入  
商品ノ代金ヲ以テ構成サレ其ノ使途ハ獨逸ヨリノ輸出商品ノ代  
金決済ニ限ラレテ居ル特殊ノモノデ寧ロ貿易上ノ相殺取引ノ一  
形式ト見ルノガ妥當デアルカラ本勘定ニ關シテハ後章ニ於テ説  
明ヲ加ヘルコトニスル。

短資据置協定或ハ長期外債ノ「トランスファ・モラトリウム」ニ關スル對外支拂義務ニ關スル法律等ニ及ンデ居リ且其ノ處分ハ之ヲ純粹ノ爲替上ノ取引ト別箇ニ考察スル要ガアルノデ章ヲ更メテ論述スル次第デアル

封鎖預金ニ對比シテ自由ニ處分シ得ル外國人ノ在獨預金ヲ自由「ライヒス・マルク」預金 *Freie Reichsmarkguthaben* 云フ自由「ライヒス・マルク」預金ハ一九三一年七月十六日以後（債權者ガ外國銀行ナルトキハ一九三一年七月三十一日以後）國內信用機關又ハ郵便局ニ生ジタ外國人ノ預金デ其ノ拂込ニ關スル爲替管理法上ノ許可（前述）ニ際シテ處分制限ノ條件ノ附帶シナイモノカラ成立スルノデアツテ其ノ勘定所有者ハ國內ニ於テ自由ニ既チ許可ヲ要セズシテ之ヲ處分シ得ル從テ之ヲ他ノ外國人ノ國內勘定ニ移シ又ハ之ヲ引當トスル手形若ハ小切手ヲ振出スコダガ出來ル自由「ライヒス・マルク」預金ヲ引出シ之ヲ以テ外國爲替ヲ買入レル場合ハ



別途爲替取引ニ關スル許可ヲ要スルガ勘定所有者ノ所屬國ノ通貨  
 ニ換ヘル場合ニハ通常許可ガ與ヘラレルコトニナツテ居ルカラ自  
 由「ライヒスマルク」預金ニ付テハ其ノ處分ハ勿論國外ヘノ「ト  
 ランスプア」モ格別ノ制限ヲ受ケナイモノト解シテ差支ナイ  
 封鎖勘定ニハ後ニ述ブル様ニ澤山ノ種類ガアルガ其ノ處分ニ付テ  
 ハ何レモ原則トシテ爲替管理局（登録預金ノ場合ハ「ライヒスバ  
 ンク」ノ許可ヲ要スルノガ通則デアツテ唯之ヲ特定ノ目的ノ爲處  
 分スル場合ニ自由ガ認めラレテ居ル斯ノ如ク封鎖勘定ナルモノヲ  
 設ケテ外國人ノ獨逸國內ニ有スル預金又ハ債權ノ處分ヲ制限シタ  
 趣旨ハ在外債權者ノ資金引上ヲ抑制シ「ライヒスマルク」ノ對外  
 價值安定ヲ圖ルコトニ在ルノデアツデー一九三一年ノ金融恐慌ノ苦  
 イ經驗カラ生レタ制度ト見ルコトガ出來ル  
 封鎖勘定ノ處分ハ上記ノ如キ制限ヲ受ケルガ國內ニ此ノ勘定ヲ有  
 スル外國人ノ債權者タル地位ニハ別段ノ變動ガナイノデアルカラ

外國債權者ガ其ノ必要ニ基キ各種封鎖勘定ノ制限ノ廣ニ從ヒ自由「マルク」ニ比シ幾分不利ナル相場ニ甘ンジテ之ヲ外國ニ於テ買却換價スルコトハ自由デアツテ此ノ點ニ關シ「シヤハト」ハ國際羊毛會議ノ席上ニ於テ「獨逸國內ニ預金ヲ有シ且或ル期間忍耐シ得ル者ハ何等ノ損失ヲ蒙ルコトナカルベシ然レドモ外國債權者ニシテ其ノ所有ニ係ル預金ヲ損失ヲ甘受シテモ當分換價セントスル者ニ對シテハ余ハ之ヲ阻止スベキ何等ノ理由ヲ有セズ余ハ斯ノ如キ債權者ニ忍耐ヲ強制セズ」ト述ベテ居ル事實封鎖勘定ハ外國市場ニ於テ多少ノ「デイスカウント」ヲ以テ取引サレテ居ルノデアツテ獨逸政府ハ一方ニ於テ斯ル封鎖勘定ノ減價ヲ利用シテ之ヲ獨逸ヨリノ輸出商品ノ代金決済ニ充當シ（所謂追加輸出ニ依ル輸出獎勵）或ハ海外ヨリノ旅行者ノ旅費ニ充テ外客誘致ヲ促進スル等ノ巧妙ナル方策ヲ案出シタノデアアル封鎖勘定ノ一種デアツテ主トシテ國內旅行ノ目的ニ使用サレル「レギスター・マルク」預金

ニ付テハ倫敦爲替市場ニ於テ自由「マルク」ノ相場ニ對スル「デ  
 イスカウント」ノ割合ヲ以テ表示サレル爲替相場ガ建テラレテ居  
 ルコトハ「エコノミスト」ノ報ズル通デアツテ比較的處分ノ自由  
 ナル封鎖勘定ハ海外ニ於テ相當旺ニ賣買サレテ居ル事實ヲ窺ヒ知  
 ルコトガ出來ル（一九三五年一月以降ニ於ケル倫敦市場ニ於ケル  
 「レギスターマルク」ノ「デイスカウント」率ノ變遷ヲ見ルト三  
 ○%乃至五○%ノ間ヲ往來シテ居ル）

第三、封鎖勘定ノ種類

封鎖勘定既チ封鎖預金ハ其ノ成立ノ原因及時期ニ從ヒ次ノ多種ニ  
 分レ何レモ其ノ處分ガ制限セラレテ居ルガ各種類毎ニ特定ノ目的  
 ニ使用スル場合ニ限り自由處分ガ認めラレテ居ル。

(一) 信用封鎖預金 *Kreditverengungsbanken*

此ノ勘定ハ次ノ二ノ原因カラ生ズル

(1) 獨逸國內ニ於ケル投資財産特ニ不動産、相續財産ノ賣却手取

金 金

(2) 一九三一年七月十六日前ニ外國人ヨリ供與サレタ信用ニシテ  
 短資据置勘定ノ對象トナラザルモノノ償還金（但シ外國銀行  
 ガ債權者ナルトキハ一九三一年十月九日前ニ供與サレタ信用  
 ノ償還金）

信用封鎖預金ハ許可ヲ經ズシテ「ライヒスマルク」表示證券ノ  
 購入ニ使用スルコトガ出來ル。又次ノ目的ニ使用スル場合ニハ  
 通常地方爲替管理局ノ許可ガ與ヘラレル

(1) 獨逸國內ニ於ケル長期投資

(2) 勘定所有者及其ノ家族ガ商用以外ノ目的デ旅行スル場合ノ旅  
 費但シ一月月額二千麻ヲ限度トス

(3) 勘定所有者ノ獨逸國內ニ於ケル社會的、宗教的團體等ニ對ス  
 ル無償ノ寄附又ハ國內要扶助者ニ對スル扶養料ノ支給

(4) 封鎖勘定ノ成立ハ維持管理ニ關スル費用ノ支拂

(5) 勘定所有者ノ租税支拂

(6) 獨逸商社ノ勘定所有者ニ對スル商品引渡及勞務給付ニ關スル  
代金支拂但シ代金ノ二五%ヲ限度トス

(二) 紙幣封鎖預金 *Notenaperguthaben*

一九三五年十二月一日付爲替管理法第三次施行令ニ依リ「ライ  
ヒスマルク」紙幣ノ輸入ガ禁止サレタ結果此ノ禁止ニ反シ國內  
ニ攜帶搬入セラレ若ハ送付セラレタル紙幣又ハ外國人ノ爲ニ預  
金ヲ爲ス旨ノ指圖ヲ以テ外國ヨリ送付セラレタ「ライヒスマル  
ク」紙幣ハ紙幣封鎖預金ニ預入サレル其後一九三六年五月ノ第  
五次施行令ニ依リ獨逸補助貨ノ輸入ガ禁止サレ不法ニ輸入サレ  
タ補助貨モ此ノ勘定ニ預入サレルコトニナツタノデ紙幣封鎖預  
金ノ名稱ハ廢止サレ新ニ通貨封鎖預金 (*Sollensperguthaben*) ガ  
設ケラレタガ其ノ實質ハ従前ト同ジデア  
ル  
紙幣封鎖預金ハ許可ヲ得ズシテ「ライヒスマルク」表示證券ノ

大 藏 省

購入ニ之ヲ使用シ得ル又不動産擔保貸付、内國人ニ對スル貸付  
及内國企業ヘノ參加ノ爲ニハ許可ヲ得テ之ヲ使用シ得ル

(三) 舊預金 (*Altgeld*)

内國通貨若ハ外國通貨ニ依ル外國人ノ預金デ一九三一年七月十  
六日前ニ國內信用機關内ニ存シ短資据置勘定ノ對象トナラザル  
モノハ舊預金トシテ取扱ハレル。舊預金ハ信用封鎖預金ト同ジ  
使用方法ガ許サレテ居ルガ使用限度ハ一九三二年四月一日ニ於  
ケル現在額ノ二五%トナツテ居リ勘定保有銀行ノ許諾ヲ得レバ  
最少六ヶ月ノ期間ヲ置イテ更ニ二五%ヲ使用シ得ルコトニナツ  
テ居ル

(四) 國外移住者封鎖預金 (*Umswanderer sperrgeld*)

一九三一年八月三日以後住所又ハ居所ヲ外國ニ移シタ自然人既  
チ國外移住者ガ夫以前ニ國內信用機關ニ保有シテ居タ預金並ニ  
移住後ノ債務償還若ハ國內財産賣却ノ手取金カラ成立スル封鎖

(五) 證券封鎖預ケ金

*Wertpapierpfandkassen*

勘定デアツテ其ノ使用方法ハ信用封鎖預ケ金ト略々同様デアル  
 獨逸外債ヲ除ク證券ノ賣却若ハ償還手取金ハ外國債權者ノ爲ニ  
 本封鎖勘定ニ預入サレル。證券封鎖預金ノ内一九三二年四月十  
 五日現在ニ於テ外國人ノ所有トナツテ居タ證券ノ賣却手取金ヨ  
 リ生ジタモノノ使用方法ハ大体信用封鎖預ケ金ト同様デアルガ  
 然ラザルモノハ「ライヒスマルク」表示證券ノ購入以外ニハ之  
 ヲ使用シ得ナイ

(六) 特別勘定

*(Sonderkonten)*

外國人ニ對スル利子、配當、地代其ノ他ノ定期的給付ハ通常後  
 述ノ外債換算金庫ニ拂込マレルガ地方爲替管理局ノ許可ヲ得テ  
 爲替銀行内ノ特別勘定ト稱スル封鎖勘定ニ拂込ムコトガ出來ル。  
 特別勘定ノ所有者タル外國人ハ自己ノ計算ニ於テ一定期間内左  
 ノ目的ニ之ヲ使用スル場合ニハ許可ヲ要シナイ

大 藏 省

(1) 獨逸國內ニ於ケル社會的、宗教的團體等ニ對スル無償ノ寄附

又ハ國內要扶助者ニ對スル扶養料ノ支給

(2) 封鎖勘定ノ成立若ハ維持管理ニ關スル費用ノ支拂

(3) 租稅ノ支拂

(4) 勘定所有者及其ノ家族ガ商用以外ノ目的デ旅行スル場合ノ旅

費但シ一月月額二千麻ヲ限度トス

(七) 外債換算金庫預金 *Konversionskassenguthaben*

「ナチス」政府ガ其ノ成立後間モナク離行シタ外債ノ「トラン

スファームラトリウム」ニ關聯シ一九三三年六月九日ニ公布サ

レタ對外支拂義務ニ關スル法律 (*Geetz über Zahlungsverbindlich*

*keiten gegenüber dem Ausland*)ニ依リ一九三一年七月十五日以前ニ

成立シタ總テノ對外債務ニシテ短資据置協定ノ適用ヲ受ケザル

モノニ關スル利子、配當地代其他ノ定期的給付ニ付テハ一九三

三年七月一日以後外貨支拂ガ停止サレ國內債務者ハ之ヲ「ライ

大藏省



ヒスバンク」ニ新設サレタ外債換算金庫 *Konversionskasse für*

*Deutsche Anleihenwechseln*

ニ「ライヒスマルク」ヲ以テ拂込ムコトニ依テ義務ヲ免レ得ル  
 コトニナツタ此ノ外債換算金庫ニ拂込マレタ「ライヒスマル  
 ク」金額カラ生ズル外國債權者ノ預金ヲ外債換算金庫封鎖預金  
 ト稱シ外債拂ハ勿論其ノ自由處分ニモ制限ガ加ヘラレタノデア  
 ル。

然シ乍ラ此ノ封鎖預金ノ外債拂ヲ全然禁止スルコトハ獨逸ノ對  
 外信用ヲ急激ニ失墜スル虞ガアツタノデ政府ハ一時本勘定ノ五  
 ○%ヲ限り爲替ヲ以テ支拂ヒ他ノ五○%ニ對シテハ外債換算金  
 庫ノ無利子證券既チ所謂「スクリツプ」ヲ發行スルノ措置ヲ採  
 ヲタガ一九三三年末ニ至リ外債拂ノ割合ハ三○%ニ引下ゲラレ  
 其ノ後外債資金ノ窮乏一層甚シクナルニ及ビ一九三四年四月逐  
 ニ外債拂ヲ全廢シ從來ノ一部外債拂一部「スクリツプ」發行ノ

大藏省

方法ニ代ヘ外國債權者ニ對シテハ一九四五年一月一日滿期一三分利付ノ外債換算金庫確定債務證書 (*Fremdwirtschaftsverbindlichkeiten*)

一ヲ交付スルニ至ツタ。

尤モ政府ノ重要外債タル「ドース」及「ヤンク」公債ノ元利拂ニ付テハ關係國トノ特別協定ニ依リ例外ガ認メラレテ居ル。外國債權者ガ確定債務證書ノ交付ヲ希望シナイ場合ニハ其ノ預金ハ外債換算金庫内ニ無利子デ据置カレルコトニナルガ其ノ使用ニ付テハ他ノ封鎖勘定ト異ナリ殆ンド許可ガ與ヘラレナイノデアル。

(ハ) 登録預金又ハ「レギスターマーク」預金 (*Registered mark capital*)

一九三一年ノ金融恐慌直後ニ於テ外國債權銀行トノ協議ニ依リ成立シタ短資据置協定 (*Billplatzabkommen*) ハ外國銀行ノ獨逸銀行會社ニ對シテ供與シタル手形引受ニ依ル信用、(「コールローン」等ニ基ク短期債務ノ内主要ナルモノヲ据置キ其ノ對外支拂ヲ停

大藏省

止シ除々ニ其ノ整理ヲ行フコトヲ目的トスルモノデ其ノ存續期  
 間ハ昨年二月迄六回ニ亘リ延長サレタガ更ニ本年二月ニハ債權  
 者代表ト第七次ノ交渉ヲ行ツタ結果一九三八年二月末日迄延長  
 スルコトニ決定シ今日ニ至ツテ居レルガ右ノ短資据置協定ノ適  
 用ヲ受ケル對外債務ニ付テ國內債務者ハ「ライヒスバンク」ノ  
 許可ヲ得テ「ライヒスマルク」ヲ以テ同行ノ管理下ニ在ル一九  
 三三年受託會社 (*Trusthandlungsgesellschaft von 1933 M.B.H.*) 一ニ於  
 ケル登録勘定ニ之ガ支拂ヲ爲シ得ルノデアツテ此ノ登録勘定ニ  
 拂込マレタ外國債權者ノ預金ヲ登録預金又ハ「レギスターマル  
 ク」預金ト稱スルノデアル。登録預金ハ封鎖勘定ノ一種デア  
 ルカラ其ノ處分ニ付テハ原則トシテ許可ヲ要スルガ右許可ヲ與ヘ  
 ル機關ガ爲替管理局デナクテ「ライヒスバンク」デア  
 ル點ニ於テ他ノ封鎖勘定ノ場合ト手續上ノ差異ガアル。登録預金ノ使用  
 方法ハ特定内國證券ノ買入、國內銀行又ハ個人ニ對スル貸付等

大藏省

ノ投資ニ振向ケラルル場合又ハ外國人ノ獨逸國內旅行費用ニ使  
 用サレル場合ニハ處分ノ自由ガ認メラレテ居ル又許可ヲ得テ獨  
 逸商品ノ輸出代金ノ五〇%迄ノ決濟ニ充當出來ル旅行費用ニ使  
 用スル場合ハ外國銀行又ハ旅行案内所ニ於テ信用狀又ハ旅行小  
 切手ノ形式ニ依リ之ヲ賣買スル方法ニ依ルノデアツテ自由「マ  
 ルク」ニ對スル「デイスカウト」ノ關係上有利ナル相場ヲ以  
 テ外貨ト換算サレ而モ國內旅行ニハ自由「マルク」ト全然同價  
 値ニ通用スル爲外國人ノ旅行費用ヲ大ニ輕減スル效果ガアルノ  
 デ旅行者ノ登録預金ノ使用ハ相當普及スルニ至ツタ。尤モ其ノ  
 濫用ヲ防グ爲一日ノ使用最高額ハ普通旅行者ニ對シテハ五〇麻  
 信用狀發行者ノ特別ノ推薦狀アル者ニ對シテハ百麻ニ制限サレ  
 テ居ル

一九三一年ノ第一次短資据置協定成立當時六十三億麻ノ巨額ヲ  
 算シテ居タ對外据置短期債務ハ逐年減少シ一九三五年末ニ八十

四億麻。本年二月第七次協定成立ノ際ニ八十億八千ライヒスマル  
クトナツタガ右ノ減債額ノ内十四億麻、餘ハ登録預金ノ使用ニ  
依ル償還デアルト云ハレテ居ル

(九) 外國人國內拂特別勘定

一九三四年十二月ニ認めラレタ外國人國內拂特別勘定既チ所謂  
「アスキ」勘定ノ制度モ封鎖預金ノ一種デアルガ獨逸ヘノ輸入  
商品ノ代金ヲ以テ構成サレ其ノ使途ハ獨逸ヨリノ輸出商品ノ代  
金決済ニ限ラレテ居ル特殊ノモノデ寧ロ貿易上ノ相殺取引ノ一  
形式ト見ルノガ妥當デアルカラ本勘定ニ關シテハ後章ニ於テ説  
明ヲ加ヘルコトニスル。